

I C T建機搭載のKomEyeで進捗差分を見える化

進捗確認の効率化に
KomEyeを導入

■■ 現場詳細 ■■

岐阜県関市 公共広域河川改修事業工事
長川の中流 分岐し下流で1本になる
水路で、大雨による偏った増水に対応し
て配分化する分岐を改修する工事。

【施工範囲】 60m

【施工土量】 切土量5,000m³

【ソリューション】

スマートコンストラクションアプリ

■■ 導入経緯 ■■

青協建設(株)土木部 川村雄二さん
I C T建機搭載のKomEye機能を使用
することにより、前方の地形をステレオカ
メラで撮影するだけで点群データによっ
て即座に立体的に現状の地形が見える化
され現状把握ができると知り、進捗確認
の効率化を図る為にステレオカメラの導
入を決めました。また、今回の現場は施
工範囲が60mと短いですがI C T建機
を導入することで手間と時間のかかる丁
張の目印を必要とせず、粗掘削ができ
る安心要素も導入のきっかけです。



土木部 川村雄二さん

岐阜県
青協建設(株)様

創立 1959年

【企業理念】

建設の使命に徹して社会の信頼にこたえ
る。

業務の改善を図って社運の発展につとめ
る。

全社員の知恵と力で豊かな生活をいとな
む。

掲載月:2020年3月

施工途中の差分に
KomEyeで早く気付ける

■■ 導入効果 ■■

青協建設(株) 土木部 川村雄二さん
今までは、進捗確認の作業に数日かかる
こともありましたが、今回の現場
に I C T建機を導入し、搭載のステレ
オカメラで撮影をすると現場の地形を見
える化できたので 感激しました。撮影
した写真からできあがった点群データは
スマートコンストラクションアプリで確
認しています。事前にアップロードをし
ておいた完成図面と重ね合わせること
で、進捗差分を正確に把握できることに
も驚きでした。お陰で日々の進捗確認作
業が簡易的にでき、現況の差分に早く気
付くことも可能になりました。また、こ
の現場は施工範囲に深さがあり、従来の
測量では作業員が測量機を持ちながら昇
り降りする危険が伴いますが、I C T建
機のマシンコントロール機能を使用する
ことで丁張や手元作業員が不要となるの
で、導入時の期待通り安心安全かつ体力
温存にもなっています。

